

マクドナルドで認知症家族会を開催

☎ 包括ケア推進課 34-3288

6月12日、マクドナルド島田中河町店で、認知症家族会が開催されました。

家族会は、認知症の家族を持つ人や介護の経験者が、悩みを共有することを目的に行っています。今回初めて同店を利用したのは、幅広い年代の利用者が訪れる場所で行うことで、より多くの人に関心を持ってもらうことが狙い。参加者は「当事者同士で交流ができて良かった。同じような悩みを抱えている人がいれば、参加してほしい」と話しました。



悩みを共有する参加者

島田大祭保存振興会が大賞受賞を報告

☎ 観光課 36-7163

6月22日、島田大祭保存振興会が市役所を訪れ、県観光功労表彰「ふじのくにしずおか観光大賞」の受賞を市長に報告しました。

320年以上続く「島田大祭」の主催者として、観光客の目線に立った新しい取り組みなどが、高く評価されました。初鹿野龍哉副会長は「先人の努力をつないできた。次の3年後を楽しんでいただくにはどのようなしたら良いかを考え、改善していきたい」と話しました。



表敬訪問に訪れた保存振興会会員

審議会が下水道使用料の改定を答申

☎ 下水道課 35-7718

6月5日、市下水道使用料金等審議会は、答申書を市長に提出しました。

令和3年度における下水道の市内普及率は全人口の11.9%。経費回収率は34.9%と、全国平均の99.73%には及ばない状況です。審議会は「安定的な経営を継続するためには使用料の改定が必要」と判断しました。また、従量使用料を細分化し、少量利用者への負担軽減対策を採用。今後は、市議会9月定例会での条例改正案の審議を経て、令和6年4月1日の施行を予定しています。



市長に答申書を渡す佐藤会長(中央)

思いの詰まったランドセルをモンゴルへ

☎ 文化振興課 36-7390

6月6日、島田榛北地区労働者福祉協議会が、ランドセル63個を市国際交流協会に手渡しました。

同協議会では、企業の労働組合などに依頼し、使われなくなったランドセルを収集。モンゴルの子どもたちに大事に使ってもらいたいとの願いを込め、令和2年度から寄贈事業に協力しています。榎熊敦志会長は「ランドセルをお渡しできてよかったです。この事業が、モンゴルとの友好につながればうれしい」と話しました。



ランドセルを手渡す榎熊会長(右)